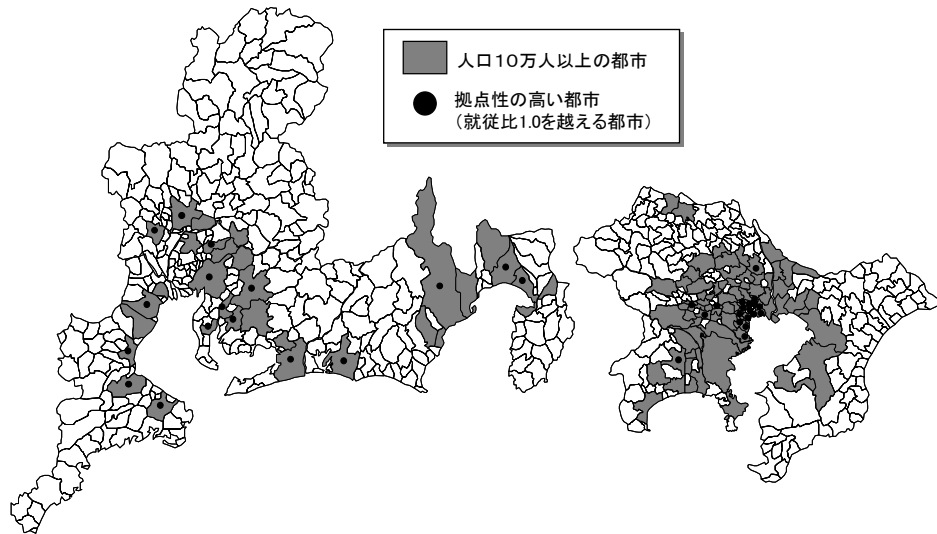


地域構造

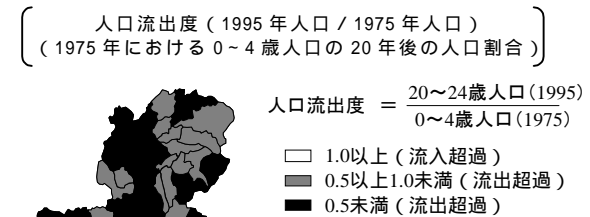
中部地域においては、首都圏が過密で一極集中型の構造であるのに対し、ゆとりの多い分散型の都市構造が形成されています。また、農山漁村地域を中心に、自然環境等の資源にも恵まれています。しかし、これら多くの農山漁村においては、都市部への若者流出が現在進んでおり、地域の活力が失われつつあります。

分散型の中部の地域構造



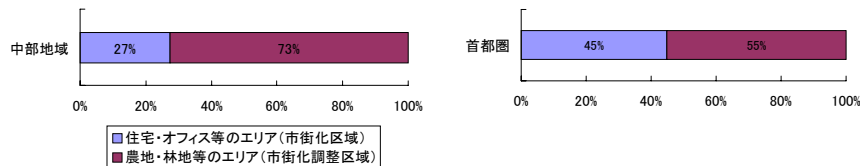
資料) 総務庁「平成7年国勢調査報告」、自治省「平成9年住民基本台帳人口要覧」

都市への流出が進む農山漁村の若者人口



資料) 総務省「昭和50年、平成7年国勢調査報告」

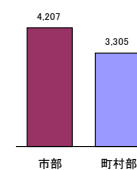
ゆとりの多い中部の都市



注) 中部地域: 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
首都圏: 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
資料) (財)都市計画協会「平成12年度都市計画年報」

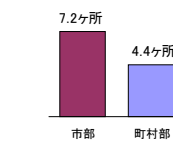
中部における都市部と町村部の地域間格差

【地域の活力】

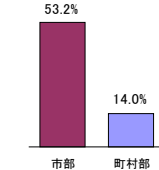


1人あたり地域内総生産 (円/人) (H10)

【暮らしやすさ】



人口10万人当たりの病院数 (病院数/10万人) (H10)



下水道普及率 (下水道利用人口/総人口) (H12)

注) 中部地域: 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
資料) 各県市町村民所得、自治省「住民基本台帳人口要覧」、総務省「統計で見る市区町村のすがた」、日本下水道協会資料